学校番号	3010

令和5年度　　美術　　科

教科	美術	科目	構成	単位数	3 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	デザインの色彩（日本色研事業株式会社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年生２時間、２年生３時間の計５時間
・一斉授業
・個人制作
・完成までの取り組み・技法の理解を重視

履修条件

なし

2　学習の到達目標

構成の学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１） 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに，基礎となる技能を身に付けるようにする。
（２） 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力，判断力，表現力等を育成する。
（３） 造形感覚を高めようとする態度を養う。
1年次の構成では、造形的な創造活動の基本となる形体、色彩、材料に対する理解を深め、感性や造形感覚と創造的な力を平面構成と立体構成を通して多様な表現方法に関心を持ち創意工夫し、豊かに発想し構想する能力を身に付け創造的に表現する能力を育てる。画材の使用の基本的技能をしっかりと身に付けて、2年次以降の構成やその他の美術科実習につなげていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的な創造活動に関わる諸要素やその働きについて理解を深めるとともに，材料や用具を工夫して的確に表すことができる。 具体的には平面構成と立体構成の形体、色彩、材料に対する理解と道具・表現内容・目的にどのような違いを作り出し、作品制作に生かされてきたかについて学び、制作に反映できている。	構成の美しさなどを考えて調和の取れた配色をしたり，材料を活用して表現効果を高めたりすることや，対象の見方や感じ方を深めたりすることができる。 具体的には様々な表現方法へ関心を持ち、創意工夫して豊かに発想し構想する能力を身に付けているかや発表を通じて、同じテーマに対しての他者の作品との共通点、差異についての関心を持ち、自己の表現について考えている。	学習を通して，主体的に自らの表現の可能性を追求するなど，造形感覚を高めようとすることができる。 具体的には素描や絵画での作品制作で得た技能や知識と結び付け生かすことができたかや、身の回りの造形や美術作品の鑑賞への興味や関心を高め、幅広い知識や技術を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	構成の基礎技法	・コンパス・定規を用いた構成 ・素材による構成Ⅰ	a：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解し生かすことができる。 b：形体，色彩，材料，美的秩序等を基盤にして工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c：繰り返し基礎となる技能や，造形的な表現効果を高めるための基礎を身に付けようとしている。新しい知識を取り入れながら，造形感覚を高めようとしている。	作品	習作 作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
	構成の応用実習Ⅰ	・視覚の研究 ・形状に合わせた構成	a：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解し生かすことができる。 b：形体，色彩，材料，美的秩序等を基盤にして工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c：繰り返し基礎となる技能や，造形的な表現効果を高めるための基礎を身に付けようとしている。新しい知識を取り入れながら，造形感覚を高めようとしている。	作品	習作 作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
2	構成の応用実習Ⅱ	・点・線・面の構成(平面) ・素材による構成Ⅱ	a：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解し生かすことができる。 b：形体，色彩，材料，美的秩序等を基盤にして工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c：繰り返し基礎となる技能や，造形的な表現効果を高めるための基礎を身に付けようとしている。新しい知識を取り入れながら，造形感覚を高めようとしている。	作品	習作 作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
	構成の応用実習Ⅲ	・デフォルメ(自然の形象) ・パターン(自然の形象)	a：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解し生かすことができる。 b：形体，色彩，材料，美的秩序等を基盤にして工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c：繰り返し基礎となる技能や，造形的な表現効果を高めるための基礎を身に付けようとしている。新しい知識を取り入れながら，造形感覚を高めようとしている。	作品	習作 作品 振り返りシート	作品 振り返りシート
3	構成の応用実習Ⅳ	・抽象表現(自然の形象) ・空間表現	a：造形的な創造活動に関わる諸要素について理解し生かすことができる。 b：形体，色彩，材料，美的秩序等を基盤にして工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。 c：繰り返し基礎となる技能や，造形的な表現効果を高めるための基礎を身に付けようとしている。新しい知識を取り入れながら，造形感覚を高めようとしている。	作品	習作 作品 振り返りシート	作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度